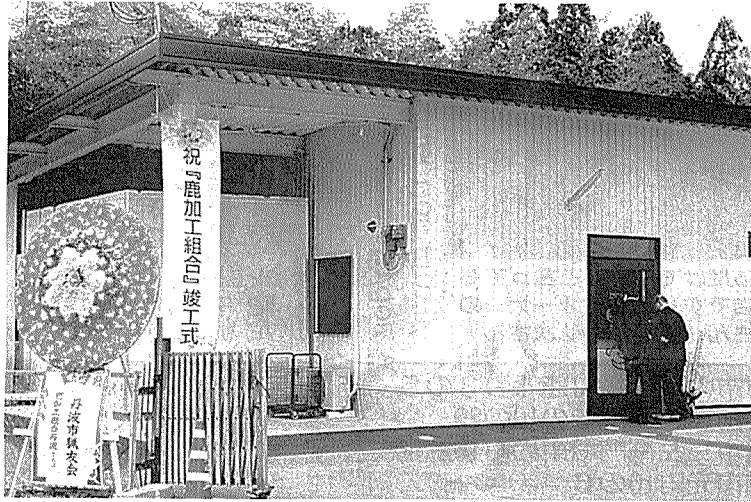


# 鹿肉の有効活用施設完成 年1000頭まるごと処

## 丹波で式典「全国に先駆けた拠点」



理室、精肉や包装などを  
する二次処理室などを  
備える。丹波市内で  
捕獲される鹿は年間約  
1500頭といい、その  
3分の2程度を処理  
する。

丹波市氷上町谷村  
に、シカ有効活用処理  
施設ができあがり、完  
成式典が16日開かれ  
た。年間約1000頭  
の鹿をまるごと処理で  
きるという。

鹿肉加工業者、ドッ

グフード会社、県猟友  
会丹波支部でつくる鹿  
加工組合丹波が、鹿肉  
加工業者、丹波姫もみ  
じ（柳川瀬正夫社長）  
の敷地内に国の補助金  
約2600万円を活用  
して設けた。

施設では鹿を解体  
し、食肉用やドッグフ  
ード用、皮革用の原料  
などを生産する。鉄筋  
平屋建て床面積約15  
1平方メートル。約20頭を保  
管できる冷蔵庫や内臓  
摘出などをする一次処

柳川瀬社長は「食肉  
用だけでなく、これ  
まで廃棄していた部分  
も含め鹿肉を有効活  
用できる全国に先駆  
けた拠点ができた」  
と述べた。

【丸井康充】